

令和 7 年度 指定管理者モニタリング年度評価表

施設名	徳島市立考古資料館	
指定管理者名	公益社団法人徳島市シルバー人材センター	
評価期間	令和 7 年 4 月 1 日 ~ 令和 8 年 3 月 31 日 (4 年目)	
評価者	指定管理者	徳島市立考古資料館 館長
	教育委員会	社会教育課 管理係 主事

1 目標の達成度についての評価

別紙のとおり

2 仕様書等に定める管理運営水準についての評価

評価項目		指定管理者 評価	教育委員会 評価
(1) 適正な管理運営			
管理運営 体制	人員の配置及び職員体制は適正か。	A	A
	職員の能力向上に向けた取組など人材育成は行われているか。	A	A
	労働基準法など関係法令に従って職員の労働管理は適正に行われているか。	A	A
利用料金	利用料金の管理及びその徴収、減免に係る手続き等は適正に行われているか。	A	A
情報管理	個人情報及び業務上知り得た機密事項を適正に管理する取組はできているか。	A	A
	著作権法等を遵守し、資料の無断転載の防止は徹底できているか。	A	A
危機管理	利用者の安全対策(事故防止等)及び危機管理は適切に行われているか。	A	A
環境配慮	省エネルギー等環境への配慮は十分になされているか。	A	A
指定管理者 の責務	法令・協定書等を遵守しているか。	A	A
	申請、届出など必要な手続きを、適切な時期に適正に行っているか。	A	A
(2) 事業計画の達成、サービスの水準			
運営業務	施設の設置目的、運営の基本方針に沿って適切に運営されているか。	A	A
	仕様書、事業計画の水準を満たした施設の運営が行われているか。	A	A
	提案事業・自主事業を計画どおり効果的に行っているか。	A	A
	考古資料館の施設・設備を有効に活用できているか。	A	A
	地域・関係機関・ボランティアなど外部団体との連携は推進されているか。	A	A
管理業務	施設・設備等の保守・検査を適正に行い、安全性・快適性を確保できているか。	A	A
	清掃・植栽管理等を適正に行い、衛生的で美しい環境を維持しているか。	A	A
	資料の良好な維持管理及び特別利用の承諾は適正にできているか。	A	A
	文書・備品等を適正に管理しているか。	A	A
利用者対応	利用者の意見を取り入れる取組や苦情等の対応は適切に行われているか。	A	A
	利用者に対する接遇及び相談業務は適切に行われているか。	A	A
利用促進	利用促進のための取組を十分に行っているか。	A	A
	ホームページ・パンフレットなど情報発信を積極的に行っているか。	A	A
(3) 収支等			
経理	仕様書等に沿って経理処理を適正に行っているか。	A	A
収支	収支の状況に不適切な点はないか。	A	A
経費節減	収入増加又は経費の抑制等が図られているか。	A	A

(4) その他			
今後の課題等	施設の老朽化に伴い、空調設備の更新や、照明機器のLED化等を計画的にお願いしたい。事業運営においては、ボランティアとの連携をどのように推進するかが課題と考えている。		
評価項目		指定管理者評価	教育委員会評価
(5) 総合評価			
指定管理者	入館者数が、10,452人と令和元年度以来の1万人越えとなった。3回開催した企画展もすべて好評であった。夏季企画展「戦争の記憶-考古資料が語る戦争-」においては、音声等今までに無かった展示内容が考古資料館協議会において評価していただいた。その他の事業も天気にも恵まれ全て実施することができた。施設管理では、自動ドアのユニット交換及び展示室換気扇の修理をしていただいた。		
教育委員会	全ての評価項目について、概ね仕様書等に沿った管理運営水準を達成することができた。引き続き物価高騰や施設の老朽化等の課題があるが、優先順位をつけながら適切に修繕等の対応を行うことができた。入館者数が1万人を超えたほか、企画展の内容も好評であったことを高く評価したい。令和8年度は今期指定管理の最終年度となるため、これまでの経験を踏まえ、更に充実した取組みに期待したい。		
総合評価		A	A

【評価基準】

- S:仕様書、事業計画の基準を遵守し、その水準よりも優れた内容である。
- A:仕様書、事業計画の基準を遵守し、その水準に概ね沿った内容である。
- B:仕様書、事業計画の基準を遵守しているが、内容の一部に課題がある。
- C:仕様書、事業計画の基準を遵守できていない又はその水準を下回る内容である。

令和7年度 徳島市立考古資料館指定管理における 目標の達成度についての評価

1 施設の概要

- (1) 施設名 徳島市立考古資料館
- (2) 所在地 徳島市国府町西矢野10番地の1
- (3) 設置目的 市民の教育、学術及び文化の創造と発展に寄与するため。
- (4) 開館年月日 平成10年11月24日
- (5) 延床面積 約803㎡

2 指定管理者の概要

- (1) 団体名 公益社団法人徳島市シルバー人材センター
- (2) 所在地 徳島市佐古四番町12番10号
- (3) 指定期間 令和4年4月1日から令和9年3月31日まで(5年間)
- (4) 指定管理者が行う業務の内容
 - ① 考古資料館事業に関する業務
 - ② 考古資料館の研修室等の利用及び考古資料館資料の特別利用の承諾に関する業務
 - ③ 考古資料館の維持管理に関する業務
 - ④ その他教育委員会が必要と認める業務

3 評価結果

1 目標の達成度				
評価項目	目標値	単位	備考	実績・評価
基本目標(多くの人に利用される施設づくり) 利用者にとって、より便利で快適な考古資料館とし、多くの人に利用される施設を目指します。				
入館者数	9,600	人/年	毎月800人×12ヶ月、展示室利用者数を重視	10,452
企画展示の満足度(平均)	80	%/年	アンケート結果による	92.8
参考指標 所見	<p>「入館者数」については、目標を大きく上回り、1万人を超える成果を挙げることができた。各企画展やイベント等についても、概ね昨年度を超える参加者数であり、着実な事業運営が入館者数・参加者数につながっていることを評価したい。</p> <p>「企画展示の満足度」についても、目標値を上回る実績を残すことができた。戦後80年の機を見て新たなテーマや手法により開催した夏季企画展や、身近な板碑を取り上げた特別企画展など、いずれも好評であった。特別企画展の図録の売上げも好調である。今後も着実な調査研究を継続し、その成果を踏まえた企画展を開催することにより、幅広い層の来館を目指してほしい。</p>			S
個別目標①(市民が親しむ開放的な施設づくり) 市民ニーズを的確に把握することにより、市民が求める事業を企画し、積極的に取り組むことで、考古資料館と市民をつなぎ、市民が親しむ開放的な施設を目指します。				
「考古資料解説会」の参加人数	120	人/年	毎月10人×12ヶ月	215
「とくしま好古楽倶楽部」参加者の満足度(平均)	80	%/年	アンケート結果による	94.4
参考指標 所見	<p>「『考古資料解説会』の参加人数」については、目標を大きく上回る実績を残すことができた。同じ資料であっても毎年異なる視点から解説を行っており、工夫した事業運営がリピーターの獲得にもつながっている。</p> <p>「『とくしま好古楽倶楽部』参加者の満足度」についても、目標値を大きく上回り、高い満足度を得ることができた。子どもや家族連れ以外の参加者も増えており、今後も幅広い年代の人びとにとって考古学への関心の入口となるような魅力的な事業運営を期待したい。</p>			S

個別目標②(青少年の学びの場として活用する施設づくり)					
郷土の文化財を次世代に継承し、幼少期よりその価値に対する理解を深めるとともに、青少年の豊かな感性の育成に資するために、学校に対する働きかけを強化するなどにより、青少年の学びの場として活用する施設を目指します。					
参考指標	体験学習等の理解度	80	%/年	学校単位(小・中・高校)、アンケート結果による	88.0
	「夏休み自由研究「本気の弥生土器づくり」」参加者の理解度	80	%/年	アンケート結果による	100
	所見	それぞれの評価項目において、高い実績を残すことができた。「本気の弥生土器づくり」については、参加者数が伸び悩んだため、次年度は開催日程や広報の工夫に取り組んでほしい。			S
個別目標③(事業成果を市民に還元する施設づくり)					
徳島市内に所在する様々な歴史・文化遺産の価値を市民に啓発し、市民が共有するために、市民ボランティアを活用したフィールドワーク等の実施を通じて、事業成果を市民に還元する仕組みを推進する施設を目指します。					
参考指標	出前授業の開催数	10	件/年	出前授業及び館外での学芸活動も含む	9
	考古資料館ボランティアの述べ参加者数	85	人/年	毎月7人以上×12ヶ月、活動内容を重視	78
	所見	「出前授業の開催数」については、目標値を達成することができなかった。ただし、出前授業のニーズは高まってきており、他の業務との折り合いをつけながら対応を検討してほしい。 「考古資料館ボランティアの述べ参加者数」についても目標値を達成することはできなかったが、新たなツールの活用研修を行う等、工夫した取り組みが行われている。参加者の固定化等の課題もあるが、今後も考古資料館の規模や活動内容に適したボランティアの活用を模索してほしい。			B
利用促進					
参考指標	広報活動①(メディア掲載数)	10	件/年	新聞・テレビ・雑誌等(ケーブルテレビ除く)	21
	広報活動②(チラシ・ポスター等作成数)	10	件/年	1事業につき1件(同一事業で何種類作成しても1件)	13
	ホームページ閲覧数	10,000	件/年	毎月800件以上×12ヶ月	13,553
	所見	「広報活動①」については、目標の倍以上の成果を挙げることができ、とりわけ特別企画展の際には、新聞で大きく取り上げられて集客につながった。 「広報活動②」については、目標値を上回る実績を残すことができた。作成したチラシを新たに市内ショッピングモールに設置する等、広報先の拡大を図った。 「ホームページ閲覧数」についても、目標値を大きく超えて達成することができた。ホームページの更新についても問題なく、常に新しい情報を載せることができていた。			S
2 仕様書等に定める管理運営水準の達成状況					
管理運営水準(適正な管理運営、事業計画の達成・サービスの水準、収支等)					
所見	モニタリング(事業報告・連絡調整会議・実地調査等)を通じ、一部対応・改善すべき点が見られたが、概ね問題はなかった。			A	
総合点数(100点満点)		85点		総合評価(S~C)	S

【評価基準(1目標の達成度)】

- S:優れた事業や取組が見られ、目標を大きく上回る顕著な成果があった。
- A:仕様書、事業計画のとおり事業を実施し、目標を達成することができた。
- B:仕様書、事業計画のとおり実施したが、目標を達成することができなかった。
- C:仕様書、事業計画のとおり実施できず又は実施したが工夫が見られず、目標を達成できなかった。

【評価基準(2仕様書等に定める管理運営水準の達成状況)】

- S:仕様書等に定める管理運営水準を達成できており、問題は見当たらなかった。
- A:仕様書等に定める管理運営水準について、改善を要する軽微な事項があった。
- B:仕様書等に定める管理運営水準について、改善を要する軽微な事項が多数あった。
- C:仕様書等に定める管理運営水準について、重大な瑕疵があった。(または業務改善に関する通知書を受けた。)

【総合評価】

- S(80点以上):管理運営状況は著しく良好である。今後も継続して同様の取組を推進すること。
- A(70点以上):管理運営状況は概ね良好である。更なる発展のための取組を行うことが望ましい。
- B(60点以上):管理運営状況は水準並みと認められるが不十分な面もある。事業の総括等を行い、改善が必要である。
- C(60点未満):管理運営状況に問題が見られる。問題点を早急に整理し、事業の見直し等を行うこと。